

令和7(2025)年度 児童館事業年間活動報告書

山階児童館

活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題			
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計		
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人					
5時から卓球	156				391	15	119						525	夕方5:00頃から高学年以上の子どもたちが集まり卓球を楽しむ。	認知度も上がり、卓球を行う目的で来館する子も増えてきた。卓球を通して高学年と中学生の交流の場になっている。幼児親子の来館によって部屋をわけるなどの工夫をした。今後も5時以降の利用がそれぞれ楽しく過ごせるよう工夫していきたい。	
ecoクラブ	28		2	108	5	43							158	追肥や水やり作業で春はチューリップを育て、夏はゴーヤのグリーンカーテン作りをする。1年を通してペットボトルキャップの仕分け・業者に回収を依頼をする。	土に触れ、植物を育てて収穫していくことに楽しさを感じる機会となる。eco工作はお弁当いらないDAYで使用したお弁当の蓋を再利用してプラバンを作る。工作は好評で、継続していきたい。ペットボトルキャップを持って来てくれる家庭も増えて広報の成果があった。	
将棋クラブ	12	1	65	37	22	12					1		9	147	駒の並べ方や動き方を覚えながら、友だちと対戦する。3月の将棋大会に向けた予選会も実施した。	将棋に興味・関心をもつ子が多く、人気のあるクラブ。メンバーを交代しながら対戦して交流する機会になった。今年度は、保護者の方も参加され児童館の取組を知ってもらうことができた。初心者にはどうぶつ将棋で動き覚えてもらう工夫をおこなった。山科中央老人福祉センターの将棋サークルの方が定期的にボランティアとして来てくださり、小学生と地域の方の交流につながった。
きりえクラブ	12		25		44	7								76	2年生以上対象。デザインカッターを使用して、カッターの使い方を身につけたり、級によって難易度の違う絵を切り抜いて、作品を完成させる。	施設外や今年度はまつりの時に児童館前の掲示板に作品を掲示し、多くの人に見てもらうことができた。来年度は、地域の銀行にも展示していただけるよう依頼をした。登録人数が増え、初心者の子どもが多かったため、きりえのルールやカッターの持ち方などをより丁寧に教える必要があると感じた。今後も引き続き安全に行えるよう子どもたちに声を掛けていきたい。
モシカメクラブ	12	1	41		13	1	1				3			60	初めての人は、けん玉の基本から覚えてもらい、曲に合わせてモシカメの練習をする。モシカメの記録会や3月に発表会を行った。	メンバーの選んだ好きな曲をみんなで練習し、楽しみながらリズムの取り方などを覚えた。モシカメ発表会の選曲など子どもたちと相談して決めた。1月のクラブのため、メンバーが集まらなかったり練習が不足のため、来年度は7月からメンバーを募集し、じどうかんまつりで発表できるよう取組方法を変更して行いたい。
中高生企画	11						12							12	夕方5:15から中高生と何をやりたいか相談し、卓球大会などを実施。	利用者は固定化されていたが、中高生がゆっくり卓球ができる時間のため楽しみにして参加してくれていた。今後も中高生の意見を反映できる場としていきたい。
一輪車であそぼう	12		10	79	23	16	6							134	遊戯室で乗り方の練習を通して一輪車遊びをする。	事前に約束事を決め掲示しておくことで、練習中の子も上手く乗りこなす子も互いに安全に遊ぶことができた。初めて乗る子が多い場合のサポートが課題。職員の体制を調整していきたい。

基 本 子 ど も 育 成 機 能	高学年卓球クラブ	21				86	8					94	打ち合いやミニゲーム、トーナメントなどを通して卓球を楽しむ。	卓球あそびを楽しむクラブなのか、卓球の上達を目指すクラブなのか方向性をしっかり決める必要があった。毎回同じような内容だったため、子どもたちと相談して決めていくようにしていきたい。
	お楽しみ企画実行委員	9		14		8		6				28	春、夏、冬のお楽しみ企画に向けて実行委員を募集する。子どもたちが、児童館でやりたいことを話し合って何をするか決めて準備をする。	やりたいことを積極的に持ち寄って話し合っていた。平日の放課後に集まって行うため、日程をおたよりの申込時記載していたが、メンバーが揃わないことがあった。実行委員の情報共有の方法に工夫が必要。
	春のお楽しみ企画	1		11		7	3	1				22	実行委員を募集し、実行委員会で決めた内容で役割分担や準備、当日の進行をする。	「プラ板キーホルダー作り」を行う。実行委員のやる気がとてもあり、声をかけ合って協力し合ったりする場面が多かった。参加した子どもたちもなじみのある工作だったため、スムーズに取り組んでいた。職員が関わらなくても実行委員で進められていた。
	七夕飾り作り	5				87	2	6				95	自由参加で笹飾りや短冊を作る。願い事を書いたり、折り紙などで飾りを作り、大きな笹に飾るお手伝いもできる。	山科区社会福祉協議会を通して、地域の方から笹をいただき、5日間実施する。たくさんの飾りを作って玄関前の大きな笹に飾り付けると、来館された乳幼児親子やお迎えの保護者の方にも見てもらうことができた。遊びスペースの確保も考え、1日2つまで制作できると制限をして、子どもたちが順番待ちをする時間を減らす工夫をした。
	おかいものごっこ	1		1		56	1	22				80	学童クラブの3年生が中心となり準備やお店の当番を担当し、行う。自由来館の子どもたちが参加できるように夏休みに児童館事業として実施。	お店屋さんのように好きなおやつを選んで買えるため好評だった。次年度も実施したい。
	じどうかんまつり実行委員会	9		49		20	8	11				88	みこしの飾り付けやあそびコーナーを相談して準備を行う。また、当日の役割を実行する。	あそびコーナーは、ペットボトルボウリング、スーパーキャップすくいを企画し、実行委員で準備をする。みこしは、役割決めと飾りつけをする。当日は、みこしを担いで地域の方や保護者の方々と地域をまわったり、あそびコーナーの運営を行い、地域交流の機会となった。
	夏のお楽しみ企画	1		4		10	3	2				19	実行委員を募集し、実行委員会で決めた内容で役割分担や準備、当日の進行をする。	「ドキドキゲーム大会」を行う。実行委員の会議の日に欠席者もあり、数回に分けて準備や話し合いをする。当日、参加者の意見を取り入れ臨機応変に対応していた。遊びの企画は参加者が集まりにくいのが課題。時期をふまえて検討した方がよい。
	干支の貼り絵作り	12		3		101	4	11				119	地域の民生委員の方や小学校などお世話になっている地域の方々へ気持ちを込めて作る。自分用も作ることができる。	11回目となる行事で、毎年楽しみにしてくださっている地域の方もおられる。子どもたちは意図を理解し作ってくれている。山科青少年活動センターの「べる活動」でパーツの作成を依頼し、中高生も間接的ではあるが参加する形が作れた。
	クリスマス工作	1		7		3	2	1				13	申込制。クリスマスを感じられる工作などで楽しむ。	「毛糸のクリスマスツリー」工作を行う。ツリーの型に毛糸を巻いてビーズを貼る簡単なものだったが色鮮やかな作品をそれぞれ完成させることができた。
お正月あそび	2	1	4		8	4	4			1	22	季節を感じられる行事として、羽根つきやジャンボすごろく、百人一首などで遊ぶ。	はねつき、ジャンボすごろくを2日間にわけて行った。乳幼児親子さんも一緒に参加してくださり、小学生と乳幼児親子の交流の場となった。	

	冬のお楽しみ企画	1		6	3	2	1							12	子どもたちが決めた内容で役割分担や進行をする。	「ペーパーテキストチャート」を企画し、行う。お楽しみ企画スタッフが進行し、各グループでの補佐も行う。子どもたちの活躍の場となった。また参加者からは、自宅でも作ってみたいとの声があった。
	合 計	310	3	249	532	615	170	138	5	0	0	9	1721			
推 進 活 動																
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	子ども育成機能 合 計	310	3	249	532	615	170	138	5	0	0	9	1721			

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

	活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計	
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
基 本 活 動	夕方広場	35	41	1								36	78	乳幼児親子に向けた17:00からの遊び場所の提供。	寒い時期は利用が少なかったが、児童館近辺の親子利用が多かった。遊びたいおもちゃが詰まっているようで楽しみに来館されていた。保護者からご家庭の様子を聞くこともでき大切な時間となっていた。中学生の利用がある時は、遊ぶスペースなどに配慮し職員の配置も連携を取って行った。おもちゃの消毒や片付け、次の日の活動準備の工夫が必要。	
	子育てほっと広場	52	126		2							120	248	取組のない日に設定し、好きなおもちゃで遊べるようにした。	月ごとに広報してお知らせする。館内だけでなく館前の掲示板に掲示したことによって周知できた。遊戯室でおもちゃを出して遊んだり、室内で動いて遊ぶなどゆったりと過ごせる取組。保護者同士で情報交換や交流をされる場面もあった。	
	くまさんクラブ	39	165									164	329	1年間登録制の幼児クラブ。お家ではできない遊びなどを中心に取組みを考え、活動の中で親子の絆を深め、親同士子ども同士の交流や仲間作りを支援する。	1年を通してダンスやお返事など繰り返し身についていた。月年齢の差を考えて活動内容や声かけなどに気をつけた。今年度は、山科区の認知症啓発活動のテーマカラーになっているマリーゴールドを植えたが、猛暑のため管理が難しかった。いろいろな活動を通して、保護者同士交流の場となった。年々利用者が減っており、保護者のニーズを把握しながら取組んでいきたい。	
	おもちゃのチャチャチャ	36	154									155	309	遊戯室や広場で自由におもちゃで遊ぶ。最後に体操と名前を呼んでカードを返す。	好きなおもちゃで遊べたり、保護者同士のコミュニティにもなっている。今年度は自由に撮影ができる場所を設けてみたが、参加者が少ないので広報活動や内容の工夫が必要と感じた。次年度は、曜日を月曜日に変更し、まずは参加の様子をみていきたい。	
	ちびくまちゃん	37	300									311	611	乳児親子対象。自由あそびの合間に取組を行う。毎月体重測定が出来る日を設定。また季節の取組や読み聞かせも行う。	保護者同士のコミュニティになっている。手形取りや寝相アートなどの取組みが好評。利用者からの意見も参考にしてはぐくみ室へ依頼をする。保育士、保健師の方々から「冬の過ごし方と感染症対策」子育て講座を行った。悩みも多い時期なので年1回なのが残念だと感じた。体重と身長計測を目的で利用される親御さんもおられた。毎月取組があるのはニーズに合っているようだった。今後も保護者のニーズを取組に反映していきたい。	
	ヨガ教室	2	7									12	1	20	子育て中の方に向けたヨガ教室。託児も定員を設けて行う。申込制。	今年度は年2回実施する。参加費を見直したことで、参加者が増え、児童館の活動を知っていただく機会となった。子育て中の大人向けのヨガで託児があるため喜ばれている。回数が少なくなったことへの残念な声もあったため、次年度は3回に回数を増やし、内容や広報なども工夫していきたい。
	アタッチメント・ベビーマッサージ	6	20									23		43	ベビーオイルを使って、ベビーマッサージをする。また講師の方よりアタッチメントのお話を聞ける。	ごろんと寝ている体制でマッサージなどを行うので、動いてしまう子どもには職員が付き添った。ベビーマッサージの他に寝相アートを用意して下さっていたのが好評だった。
	親子リトミック	2	5									5		10	リトミック教室・音楽教室の講師によるリトミック教室。親子でリズム遊びや音楽遊びを楽しむ。	今年度は年2回実施する。回数が減ったことを残念に思う声もあったが、利用者の低年齢化が進む中で、どのようにニーズに応えていくかが課題である。次年度は、参加人数が集まりやすいよう、くまさんクラブのプログラムの1つとして取組んでいきたい。
	絵本の楽しみ方	1	7									6		13	無料。申し込み制。当日は絵本の楽しみ方の公演を楽しむ。絵本を読みながら、絵本の楽しみ方や読み方など大切なことに気づける人気の企画。	参加して下さった保護者にもおすすめの絵本を紹介していただいた、いろんな絵本を知る機会となった。一方で、終了時間が遅くなってしまったことで、幼児さんの集中力が続かない場面もあったため、時間設定など見直していきたい。

援 活 動													
	合 計	210	825	1	2	0	0	0	832	0	0	1	1661
	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路			件数	相 談 内 容		件数	つないだ機関等		件数
		乳児 幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童) 中学生 高校生	9 41 14	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他			64	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他		16 5 40 1 2	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 【区社協 そのほか 放課後デイサービスセンター 相談センター】		10 1 1 2
件数 計		64	-			64	-		64	-		14	
(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容			育成・支援内容			成果と課題				
	安朱ティーカップサロン	12	安朱学区の自治会館で、地域の方が、乳幼児親子を対象としたサロンを実施されている。その取組の一部として年3回、移動児童館として実施。			簡単な工作や寝相アートなどを行う。			児童館の活動を知ってもらい機会になった。保護者の方からニーズや子育ての話などが聞くことができた。				
	山階ホッとサロン	12	山階学区の主任児童委員と協力して、じゃがいも掘り体験とさつまいも掘り体験を実施。			企画内容の相談、広報・募集・受付・当日の企画運営のサポート・さつまいもの苗を発注と預かり、苗植えのお手伝いなど行う。			毎年、自然に触れる機会となっている。親子一緒に収穫体験できることを喜ばれている。収穫までの期間、苗植えなどの作業を相談しながら一緒に実施した。今年度は、猛暑のためさつまいもが全く収穫できなかったが、小学校のご好意でフルーツの収穫をさせていただいた。今後もいろいろな機関と連携し、実施していきたい。				
推 進 活 動	活動名	実施回数	活 動 内 容					成 果 と 課 題					
	京都市家庭ごみ有料指定袋 無料引換券の引き換え	随時	新生児向けのごみ袋の引き換えを児童館にて行う。					引き換え時に児童館を初めて知る機会になることもあり、利用につながっている。					
	子育て講座 絵本の楽しみ方	1	花田睦子氏を講師に迎え、乳幼児期の子育て家庭へ向けた取組。絵本の選び方や読み方、絵本を通して育つ力についてお話いただく。					絵本を通して子育てのかたちは決まっていないこと、大切にすることなどをわかりやすく伝えてくださる。読み聞かせのアドバイスなどがあり、参加者から好評いただいている。					
	プレバママいらっしゃ〜い する啓発活動	随時	出産前に児童館を知ってもらうことを目的に、児童館で作成したマタニティマークの缶バッジを来館された際に希望された方にお渡しし、児童館の活動を紹介させていただくと企画する。					今年度も活動ができなかった。プレババ、プレママに児童館の活動を知っていただける機会となるよう取組を検討していきたい。					

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動] (2) 家族参加を促す活動に分類して記入すること。

(R7 2025) 年度

児童館事業年間活動報告書

(山階)児童館

地域	基本	活動名	実施回数	主催	参加人数						連携団体	成果と課題			
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生			大人	合計	
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ						
		おたのしみ交流会	1	はーとふるゼン			3	1	2			6	はーとふるゼン	地域のデイサービスセンターの方たちとの交流により、子どもたちにとっても良い経験になったが、6月で閉所となり今年で最後の活動となった。	
		安朱ティーカップサロン	3	安朱学区民生児童委員協議会	32							31	63	安朱学区民生児童委員協議会	サロンを通して児童館の活動を知ってもらう機会になった。
		べる活動	11	山科青少年活動センター						4		4	山科青少年活動センター	中学生にボランティアを通して、児童館を知ってもらう機会になった。制作系の依頼が多かったが、来年度は、児童館で行う活動も取り入れていきたい。	
		ハロウィンパレード	1	山階児童館	5	11	2	3	4			11	36	商店会、山科青少年活動センター、山科中央老人センター	地域の110番の場所を覚えられることもあり、続けていきたい行事である。今年度は、乳幼児親子の募集をし、保護者も仮装をして参加していただき、親子一緒に楽しんでいる様子があった。地域交流の機会を作ることができた。
	(1)地域住民との交流を促進する活動	山階ホットサロン	2	山階学区民生児童委員協議会	12							12	24	山階学区民生児童委員協議会	取組体験ができる取り組みが喜ばれている。畑の管理は大変なため、来年度も民生児童委員の方と相談・協力しながら実施していく。
		カブラであそぼう！	1	山階学区子育てネットワーク連絡会	5	16	19	9	4	1		21	75	山階自治連・山階学区社協・山科少年補導協議会山階支部・山階民生児童委員協議会・山階小学校・山科青少年活動センター・山科幼稚園	親子一緒に楽しめる取組。今年度は暑さ対策の工夫などしていただき開催できた。中学生ボランティア「べる活動」の募集をおこない、中学生との交流の場ともなった。
		あそぼらんど	4	山階児童館	38							37	75	山科区社会福祉協議会、山科中央老人センター、山科デイサービスセンター、げんきスポット0-3	夏の乳幼児親子さんの居場所になった。最後の回は写真を撮って工作をする。協力していただいている団体が4回すべての参加が難しいとの声があり、来年度は、児童館と連携し負担軽減を図る。
		やんちゃフェスタ2025	1	梅小路公園		4	16	1	4				25	全市の児童館、学童保育所	会場では、グループごとで行動する。各コーナーを回り楽しんでいた。他の児童館や学童保育所を知る機会となった。
		さんかいじどうかんまつり	1	山階児童館	185	141		89		10		422	847	学童クラブ保護者会	子どもたちの様子や友だち関係などを保護者が知る機会となり、保護者同士の関係づくりにもなった。また、地域の方に児童館の活動を知っていただく機会となった。

安朱学び教室 千支の貼り絵作り出張	1	安朱小学校放課後まなび教室			18		15					33	安朱学区民生児童委員協議会	仕上げた物は持ち帰ることができるため毎年喜ばれている。参加者が増えたため、まなびスタッフと相談して進行する。
合計	26	—	277	190	40	118	14	15	534	1188				

(2) ボランティア活動の推進	活動内容		活動人数				成果と課題			
	中学生	大学生	大人	合計	中学生	大学生	大人	合計		
	べる活動		7				7	中学生がボランティアとして児童館に関わってもらうことができた。		
	日常活動へのボランティア				79	79	79	日頃から地域の方があそびボランティアとして、乳幼児や小学生と関わっていた。		
		合計	7	0	79	86				

(3) 地域との連携	連携団体等	連携内容	成果と課題
	山階学区民生児童委員協議会	・幼児クラブや子育て支援活動のお手伝いをしている。	・引き続き託児保育の協力など連携をしていく。
	山階学区自治連合会	・毎月のポスターを地域の掲示板に掲示していただいている。	・回覧を見ての問い合わせもあるので次年度以降も協力を依頼する。
	安朱学区自治連合会	・毎月のおたよりを地域回覧していただいている。	・今年度からHPからおたよりを見ていただくことになる。
	山階小学校・安朱小学校	・児童館だよりの全校配布、ポスターの掲示 ・教務主任、学級担任との懇談	・おたよりの配布や児童の様子の情報交換など日常的にやり取りしている。今後も継続して必要に応じた連携を図っていく。
	山科子どもはぐくみ室	・おたよりや情報の交換	・はぐくみだよりの情報の掲載などにより、利用につながっている。
	山科警察署	・職員向けや地域の関係機関との研修の実施	・今年度は職員研修として、不審者対策を実践で教えていただく。
	山科消防署	・職員や子どもたちへの避難訓練の指導・消火器使用体験	・消防の方から子どもたちはスムーズに動くことができたと評価をいただく。消火器の訓練も半分の職員が体験することができ、学びとなった。
	学童クラブ保護者会	・定例役員会への職員の参加 ・じどうかんまつりの共催	・館長、厚生員が出席することで役員会との意思疎通を図り、活動を支援した。 ・保護者同士、保護者と職員との関係づくりの場となっている。じどうかんまつりを児童館と共催で実施した。
	山科幼稚園	・ネットワーク連絡会の団体として、日頃から情報交換をおこなっている。	・気になるご家庭があれば、連携できる関係性を作れている。
	山科図書館	・おたよりの交換	・おたよりの配付を通して、関係性づくりを図っている。
	山科青少年活動センター	・育成団体として登録。スポーツ室の利用をする。べる活動の依頼。	・べる活動を通して中学生へ児童館の周知に努めた。中学生向けの取り組みについて意
	NPO法人 山科醍醐こどものひろば	・おたよりや情報の交換	・利用者は子どもの年齢によってひろばと児童館をうまく使い分けている。
	山階小学校・安朱小学校まなび教室	・子どもの様子の共有	・まなび教室の実行委員(山階小学校)に参加し、情報交換を行った。 ・職員が見学し、子どもの様子を把握することができた。
	山階児童館・山科商店会・合同福祉センター・山科青少年活動センター・山科区社協・山科中央老人センター・山科デイサービスセンター・山階学区自治連合会・安朱学区自治連合会・山科幼稚園	・地域のまつり「ぐるっとふれ愛まちフェスタin山科」の共催	・地域一丸となって行う「ぐるっとふれ愛まちフェスタin山科」を開催するため、会議を5回実施した。当日、たくさん参加があり、地域の団体を知ってもらう機会となった。

基本活動	(4) 児童館を支える地域	組織名称	構成団体・個人	会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
		山階ホットサロン	山階学区民生児童委員協議会	じゃがいも掘り、さつまいも掘り各1回	山階学区ホットサロンの活動・取組の進め方について	民生児童委員さんと山階学区の子育ての情報共有の機会となった。
		山階学区子育てネットワーク連絡会	山階自治連・山階学区社協・少年輔導協議会山階支部・山階民生児童委員協議会・山階小学校・山科青少年活動センター・山科幼稚園	会議：年3回 5月・9月・2月 研修：年1回 1月	子育て支援ステーション事業と山階学区の子育て支援状況の共有	地域で子どもを見守る組織作りとなった。また研修を通して、地域の見守り力向上を図る。
		安朱ティーカップサロン	安朱学区民生児童委員協議会	年3回 5月・10月・2月	安朱学区のサロンの活動・取組の進め方について	民生児童委員さんと安朱学区の子育ての情報共有の機会となった。
		ぐるっとふれ愛まちフェスタ会議	山階児童館・山科商店会・山科合同福祉センター・山科青少年活動センター・山科区社会福祉協議会・山科中央老人センター・山科デイサービスセンター・山階学区自治連合会・安朱学区自治連合会、山科幼稚園	会議：年5回／ぐるっとふれ愛まちフェスタin山科 年1回 11月	ぐるっとふれ愛まちフェスタin山科の進め方・振り返りについて	地域の方、施設と連携する機会となった。
		あそぼらんど会議	山科区社会福祉協議会、山科中央老人センター、山科デイサービスセンター	会議：年2回 あそぼらんど：7月・8月	あそぼらんどの進め方・振り返りについて	夏休みの乳幼児親子さんの居場所づくりを協同して進めることができた。
		組織作り				
地域福祉促進機能	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等	使用目的	提供先(団体・機関等)	成果と課題	
		コードリール	ぐるっとふれ愛まちフェスタin山科で、屋台を開催されるため。	山科青少年活動センター	ぐるっとふれ愛まちフェスタin山科と一緒に盛り上げることができた。	
		こまの台	PTA主催のおたのしみ会でこまのコーナーを行うため。	山階小PTA	児童館で行っているあそびを知ってもらい機会となった。	

(6) 地域調査活動

調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題
児童館利用者共通アンケート	児童館改善対策	幼児クラブ登録者/学童クラブ登録児童/学童クラブ登録児童の保護者/自由来館利用者児童/乳幼児のひろば参加保護者	京都市社会福祉協議会	幼児クラブ取組終了後配布し記入/小学生利用時一度集合させ、その場で記入/Googleフォームによる回答	・利用者から貴重な意見をいただくことができた。アンケート結果を今後の事業展開に活かしたい。
子育て講演会「絵本の楽しみ方」実施アンケート	参加者意識調査	参加者	山階児童館	その場で記入、回収	・行事の感想や今後実施してほしい行事について意見を聞くことができた。
幼児クラブ年度末アンケート	1年間の振り返り、次年度への意識調査	幼児クラブ登録者	山階児童館	幼児クラブのおわかれ会の日に配布。記入の上、回収。	・幼児クラブの取組内容の感想や意見が聞けた。次年度以降の乳幼児保護者向けの事業展開に活かしたい。
じどうかんまつりアンケート	参加者意識調査	学童クラブ登録児童/学童クラブ登録児童の保護者	山階児童館	Googleフォームによる回答	・参加した児童・保護者、スタッフとして活動した児童・保護者それぞれの感想や意見を聞くことができた。次年度以降の事業展開に活かしていきたい。
ヨガ教室 実施アンケート	参加者意識調査	参加者	山階児童館	その場で記入、回収	・行事の感想や今後実施してほしい行事について意見を聞くことができた。
親子リトミック 実施アンケート	参加者意識調査	参加者	山階児童館	その場で記入、回収	・行事の感想や今後実施してほしい行事について意見を聞くことができた。

(2025) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	じどうかんだより	毎月1回	山階・安朱小学校全校児童と校長・教頭・教務主任・各クラス担任・一般来館者・介助者・ボランティア	学校より児童へ配布 個人配布	毎月の行事予定・参加募集案内、前月の行事の報告等	小学生は親子でおたよりを見て、興味関心のある行事に申込・参加をしている。見やすく分かりやすい紙面づくりを心掛ける。児童館のHPにPDF形式で掲載している。
	町内会回覧用 じどうかんだより	毎月1回	山階学区内住民	自治連合会を通じて町内回覧	毎月の行事予定・参加募集案内、前月の行事の報告等	多くの地域住民に児童館について、児童館での取り組みや行事について知ってもらう機会になっている。安朱学区は、HPからおたよりを見ていただいている。
	山階学区掲示板用ポスター	毎月1回	山階学区内住民	民協を通じて町内掲示板への掲示	毎月の行事予定・参加募集案内、前月の行事の報告等	民協の会議に合わせて発行するようにする。掲載内容を整理して、見やすく分かりやすい紙面づくりをする。
	ラクト地下通路掲示板	常時	地域住民	ラクト地下通路掲示板への事業案内 掲示	毎月の各行事の案内・参加募集・子どもの作品等	定期的に掲示物を貼り替えることで、掲示板を見て事業を知り、参加へとつながっている。児童館の取り組みや事業をアピールできる場として定着している。
	くまさんクラブだより (登録制幼児クラブおたより)	年11回	くまさんクラブ登録者	幼児クラブ受付にて配布	月々の行事予定、次回の取組内容、子どもの発達や子育てに関する情報等	次回の取組などの記載があるため、おたよりを見て日程や持ち物を確認できるものになっている。
	幼児クラブ冊子	年1回	幼児クラブ登録者	はじめの会にて個人配布	幼児クラブについての説明、年間スケジュール、グループ分け等	毎年はじめの会にて冊子を見ながら説明をしている。年間予定も載せているのでみなさん目を通してくださる。
	さんかいじどうかん利用案内 (児童館パンフレット)	年1回	一般利用者・安祥寺中学校 等	個人配布	児童館の利用案内 等	社協の統一様式で作成。
	ホームページ活用	随時	一般利用者 等	児童館ホームページにて	児童館の利用案内、行事予定 等	児童館の取り組みの紹介、じどうかんだよりなどを随時更新するようにした。
	山階小学校・安朱小学校への掲示	毎月1回	山階・安朱小学校全校児童	学校掲示板にて児童向けの事業案内 掲示	毎月の行事予定・参加募集案内	掲載する内容を整理して見やすい構成になるようにした。
	山階児童館広場前掲示板	毎月1回	近隣住民	掲示板に掲示	児童館の活動の様子を紹介	掲示板前で立ち止まり、見てくださる方が増えた。児童館の活動の様子を住民の方に知ってもらう機会になった。
	Instagram活用	週に1~2回	一般利用者等	Instagramにて	児童館の活動の様子や広報、家で楽しめる遊びや工作の紹介	日々の児童館の様子を伝えることができ、児童館利用の促進につながっている。しかし、今年度は更新内容に偏りがあり、均等に更新できなかった。
	山階子育てネットワーク連絡会 パンフレット	年1回	山階学区内住民	カプラであそぼうで配布 各施設自由配布	ネットワーク連絡会の活動や各団体の活動内容の紹介	地域の方にネットワーク連絡会や各団体の活動を知っていただく機会となった。今後も多くの方に知っていただけるよう活躍していきたい。